

提供日 2022/7/28  
タイトル 公開シンポジウム「命を守るためにヘリコプターは飛ぶ」の開催  
担当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学  
グローバル地域センター  
発信担当者 054-245-5600



静岡県立大学記者提供資料

## 公開シンポジウム「命を守るためにヘリコプターは飛ぶ」を開催します。

静岡県立大学グローバル地域センターでは、静岡県との共催により、標記シンポジウムを開催します（会場とオンライン配信の同時開催）。

報道機関の皆様におかれましては、募集告知及び当日の取材に御協力をお願いします。

- 趣旨** 大規模災害時におけるヘリコプターによる航空受援の有効性と運用の重要性について理解を深めていただくため、大規模災害時に緊急任務活動を実践してきた3人のエキスパートを招聘し、講演とパネルディスカッションを行う。
- 日時** 令和4年8月3日（水）13:30～16:50（開場：13:00）
- 会場** 静岡県地震防災センター「ないふるホール」  
（静岡市葵区駒形通5丁目9番1号）
- 内容**
  - 趣旨説明 静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授 小川 和久
  - 講演1 「医療・救助ヘリコプターでできること」  
熊本県防災消防航空隊操縦士 西村 博文
  - 講演2 「熊本型ヘリ運用体制」  
熊本市消防局東消防署警防課長代理 消防司令 小山 幸治
  - 講演3 「静岡県の消防防災航空隊について」  
静岡県消防防災航空隊隊長 南條 直希
  - パネルディスカッション  
コーディネーター  
静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授 小川 和久
- 参加者**
  - ・会場定員 80 名
  - ・オンライン定員 200 名
  - ※いずれも要事前申込、申込方法など詳細はグローバル地域センターのホームページ (<https://www.global-center.jp>) から御覧いただけます。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階

静岡県立大学グローバル地域センター

電話 054-245-5600、FAX 054-245-5603

メールアドレス [g1c\(ここに@を入れる\)u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:g1c(ここに@を入れる)u-shizuoka-ken.ac.jp)

参加料  
**無料**

要・事前申込

公開シンポジウム

# 命を守るために ヘリコプターは飛ぶ

**8月3日** 令和4年 水 13:30~16:50  
(開場13:00~)

南海トラフ地震をはじめとする大規模災害に備えるため、静岡県でも県民の命を守るための取り組みが日夜進められています。そうした大規模災害であるほどに、救助、情報収集、輸送などの緊急任務に威力を発揮するのが、ヘリコプターなどの航空機です。しかし、意外かも知れませんが、世界的に見た場合、日本全体が航空機の運用については、いまだ後進性を残しているのです。ただ飛んでいるだけでは役に立っているとは言えないのです。その現状を打破すべく、今回は国際水準をクリアした活動を実践してきた3人のエキスパートに、その経験を披瀝してもらい、安全な静岡県の実現につなげたいと思います。

## プログラム

※敬称略

### 開会挨拶・趣旨説明

静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授 小川和久

### 講演1

#### 医療・救助ヘリコプターでできること

熊本県防災消防航空隊操縦士 西村博文

### 講演2

#### 熊本型ヘリ運用体制

熊本市消防局東消防署警防課長代理 消防司令 小山幸治

### 講演3

#### 静岡県の消防防災航空隊について

静岡県消防防災航空隊隊長 南條直希

### パネルディスカッション

[コーディネーター]

静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授 小川和久

## 主催・お問い合わせ

### 静岡県立大学グローバル地域センター

TEL:054-245-5600 FAX:054-245-5603  
https://www.global-center.jp E-mail:glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

共催 静岡県  
後援 静岡市長会、静岡県町村会、朝日新聞静岡総局、産経新聞社静岡支局、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、毎日新聞静岡支局、読売新聞静岡支局、共同通信社静岡支局、時事通信社静岡総局、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、テレビ静岡

## 会場のご案内 (定員:先着順80名)

### 静岡県地震防災センター「ないふるホール」

静岡市葵区駒形通5丁目9番1号

【アクセス】

- ・静鉄バス中部国道線、丸子線、丸子小坂線、牧ヶ谷線及び東新田下川原線 本通10丁目バス停下車・徒歩5分
- ・静鉄バス西部循環線駒形廻り駒形5丁目バス停下車・徒歩2分
- ・JR静岡駅より徒歩約25分(約2km)



## ●申込方法

裏面の申込書に必要事項を記載し、FAX又は郵送にてお送りください。ホームページ又は右記二次元コードからもお申込みいただけます。

●申込期限 令和4年8月1日(月) 17:00



## オンラインのご案内 (定員:200名)

## ●申込方法

下記URLまたは二次元コードからウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法を御案内します。(ビデオ会議アプリ「Zoomウェビナー」を使用します)



グローバル地域センター

検索

https://www.global-center.jp

●申込期限 令和4年8月2日(火)

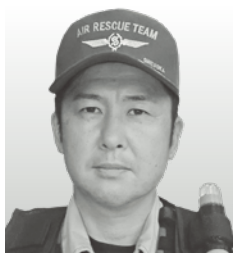
## プロフィール

にしむら ひろふみ  
**西村 博文**熊本県防災消防航空隊  
操縦士

熊本県生まれ。気象予報士・防災士。1994年、運輸省航空保安大学校航空管制情報科卒業後、航空管制通信官を務める。1998年、運輸省航空大学校卒業後、エースヘリコプター、横浜市消防局航空隊を経て、2006年熊本県防災消防航空隊に着任。著書に『医療・救助ヘリコプターの運用』（鳳文書林出版販売、2014年）。

おやま ゆきはる  
**小山 幸治**熊本市消防局東消防署  
警防課長代理 消防司令  
前熊本県防災消防航空隊長

主に熊本市消防局で消防防災の第一線に立ち、部隊指揮官などの豊富な経験を航空消防に活かして、2018年4月から21年3月まで熊本県防災消防航空隊長を務めた。消防防災ヘリとドクターヘリを柔軟に活用する熊本型ヘリ救急搬送体制は、東京消防庁に次ぐ全国第2位の出勤実績。東日本大震災、西日本豪雨への応援、熊本地震及び令和2年豪雨災害での受援など大規模災害での航空機運用のエキスパート。

なんじょう なおき  
**南條 直希**

静岡県消防防災航空隊長

静岡市生まれ。1992年静岡市消防局（旧静岡市消防本部）採用。主に陸上救助隊員として活動し、2005年から静岡県消防防災航空隊員として3年間の任期を経て、2022年、静岡県消防防災航空隊長に着任。県民の生命、身体及び財産を守るため、消防防災航空隊リーダーとして、県内消防本部と連携し、消防防災ヘリコプター「オレンジアロー」を用いて、日々の消防防災活動に尽力している。



## 公開シンポジウム

## 命を守るためにヘリコプターは飛ぶ(8月3日)

会場参加申込書

下記の申込書に必要な事項をご記入のうえ、8月1日(月)17:00までに、FAXまたは郵送にて「グローバル地域センター」までお送りください。ホームページからもお申込みいただけます。なお、定員となり次第、締め切ります。

FAX・郵送先

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター

FAX:054-245-5603 ●TEL:054-245-5600 ●https://www.global-center.jp  
●E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

フリガナ 氏 名			
会社・団体名			
御 住 所	〒	TEL :	FAX :
	ご 勤 務 先		ご 自 宅
Eメールアドレス	○をお付けください。		
今後、当センターからの講演会の案内を	希 望 す る	希 望 し な い	

\*FAX・郵便にてお申込みの方には、順次、参加確認の通知をしますので、御確認ください。ご記入いただきました個人情報につきましては、静岡県立大学が開催する講演会のご案内にのみ使用いたします。

\*新型コロナウイルス対策のため、マスクの着用、入館時の検温に御協力ください。

\*新型コロナウイルスの状況によっては、会場での開催は中止、又は会場定員を減らしての開催となる場合があります。